

現代生活学部紀要刊行規程

平成31年4月1日施行

1. 投稿者は本学現代生活学部所属の専任教員とする。
2. 学外の共同研究者は、本学部専任教員が論文筆頭者となる場合、連名で投稿することができる。
3. 投稿は原則として一人1篇とし、未刊行の論文とする。
4. 原稿掲載料は原則として無料とする。
5. 本誌に掲載されたすべての原稿の著作権は帝塚山大学現代生活学部に帰属するものとする。また、掲載されたすべての原稿を電子化し公開することができるものとする。
6. 他著からの転載がある場合は、投稿者の責任で元の著作権者から電子化し公開する承諾を得るものとする。
7. 原稿の採否、修正、その他は紀要委員会が決める。
8. 紀要委員会閲読を経た原稿は、教授会で投稿一覧として報告する。
9. ヒトを対象にした研究は、帝塚山大学研究倫理規程を遵守して行われたもので、倫理審査委員会等の審査で承認されたものとする。
10. 発行日は2月1日とする。

申し合わせ事項

1. 共著者について、退職者は在職中の研究等の内容であることを紀要委員会で確認し、退職年月を記載する。卒業生は外部で口頭発表をしている場合もしくは修士論文発表をしている場合が望ましく、そうでない場合は謝辞に記載する。
2. 紀要委員会が原稿の採否、修正、その他を決めるため、紀要委員については教授であることが望ましい。

投稿要領

1. 投稿希望者は投稿申込書に必要事項を記入のうえ、決められた期日までに提出する。
2. 共著者がある場合は、必ず申し込み時に所属・職名・氏名を記入する。
3. 原稿の記載は次の形式による。
 - (1) ワードのA4縦で、横書43字41行、10pt、余白上下左右各25mmの設定とする。
 - (2) 和文では、原則として当用漢字・新仮名遣いを用いる。句読点は、「,」ではなく「、」とする。
 - (3) 単位は原則として国際単位(SI)系とする(JISZ8203参照)。
 - (4) 原稿の頭初には表題(タイトル)、著者名を和文および英文で記載する。
 - (5) 英文タイトルは、投稿者の責任においてつける。英文タイトルは形式を統一する。
(タイトル例 Study on the planning of common space in group-living.
名前例 Hanako Tezukayama)
 - (6) 原稿には英文要旨を、目的・方法・結果・考察を含めて、本文中の内容を理解できるように平易な文で簡潔に書く。長さは150語程度とする。文頭にsummary、abstract等はつけない。英文要旨は論文のタイトル、著者名の後に入れ、これに対応する和文要旨を

別紙で添える。(和文要旨は本文が英文の場合には印刷されるが、本文が和文の場合には印刷されない。)

(7) 図表、写真は、原稿中に挿入箇所を示す。原稿中に直接挿入してもよい。

(8) カラーの図表、写真は投稿者の実費負担とする場合がある。

(カラー印刷は、全体の金額が上がるので、白黒で工夫し、なるべく避ける。)

(9) 引用文献の書き方は下記の通りとする。

(雑誌) 著者名：引用文献表題、雑誌名、巻、頁、発行年月

(単行本) 著者名：書名、発行所、頁、発行年

引用文献の例

1) 石井敏・外山義・長澤泰：グループホームにおける生活構成と空間利用の特性、日本建築学会計画系論文集、No.502、pp.103-110、1997.12

2) 岡田威海監訳・浜崎祐子訳：老人性痴呆老人のための環境デザイン、彰国社、pp.20-64、1995

3) 外山義他：グループホーム読本、ミネルヴァ書房、pp.20-64、2000

(10) 刷り上り総原稿数は、10頁までとする。(図表・写真は、挿入時の大きさを想定)

4. 投稿者は決められた期日までに、完成原稿を紀要委員に提出しなければならない。

5. 原稿提出時には、原稿提出票(紙)と原稿(紙)、原稿提出票と原稿のデータを保存した記録媒体を提出すること。記録媒体には投稿者名を記入する。

6. 投稿者は原稿の写しとデータを必ず保管しておく。

7. 校正は3校までとし、誤字脱字の訂正程度とする。各投稿者へ印刷業者から直接届ける。(校正刷の往復は、印刷業者と各投稿者間で行う。)

以 上